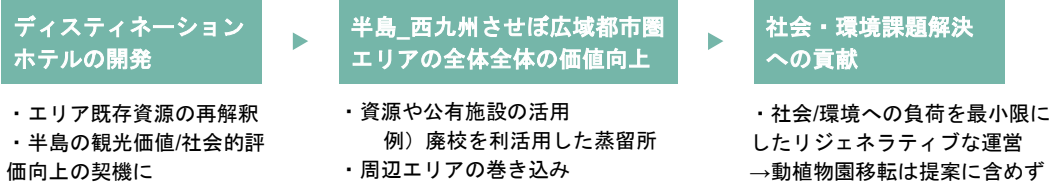


提案コンセプト：リジェネラティブなペニンシュラリゾートの開発に取り組み、観光とローカルのくらしのハッピーシナリオを策定

(1) イメージされる半島の将来像

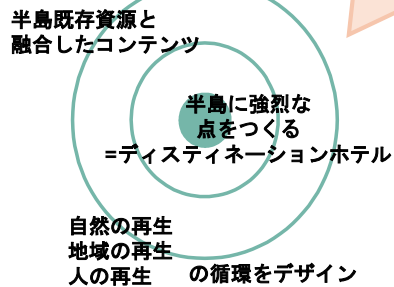
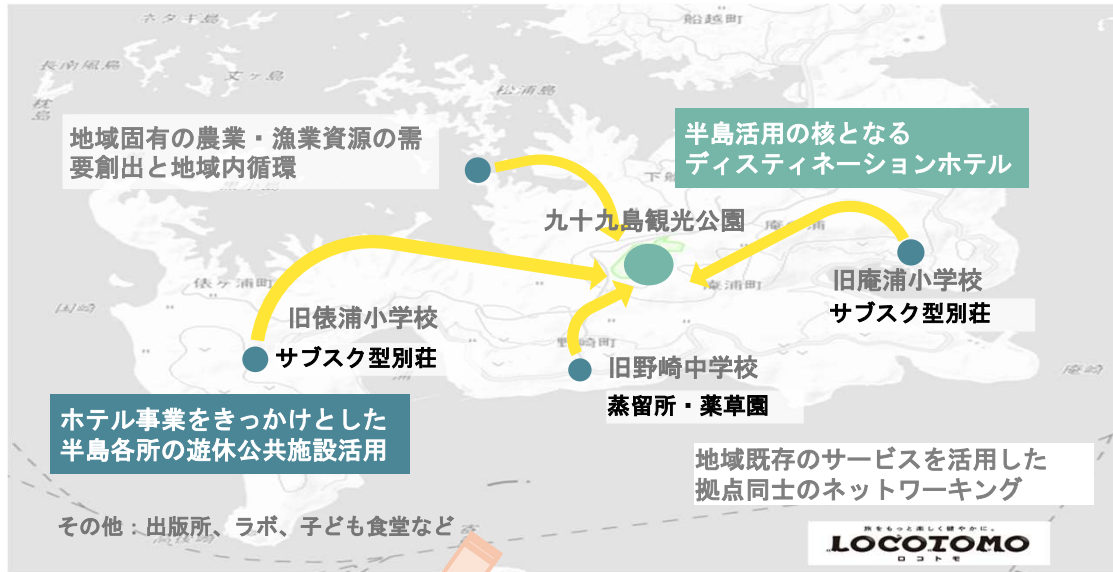


(2) ターゲット：依ヶ浦半島が既に有する圧倒的価値への共感性の高い層

唯一無二の本質的体験を求める高感度層
上質な文化自然体験を求めるインバウンド層
ローカルでの自然体験を求めるファミリー層

→ 過大な開発への依存を避け、既存資源の再編集によるエリアの価値向上を実現

(3) 半島全体の提案イメージ



(4) 公有施設の活用事業

① 九十九島観光公園の活用 (ホテル・ランドスケープ開発及び公園開発)

半島の歴史・風土を現代的に再解釈し土地の空気感を宿泊体験に織り込んだディステーションホテルの開発

- 半島/佐世保の風土を織りこむヴァナキュラーで本質的な価値の提供
- 日本を代表するペニンシュラリゾートとして国内外からの注目創出
- 客室数を絞り、高付加価値化して特定のターゲットを集客
- 市民公園とも緩やかに繋がりに折り重なる、観光とくらしの新たな融合



②③ 公有施設の活用 (廃校活用リノベーション)

A: 滞在・体験・交流の核となる蒸留所、薬草園の開設 (候補地：旧野崎中学校跡)

- ・自然/地域環境に密着した、蒸留所が核となる未活用公有資源の再生
- ・地産物を活かし地域に根ざした蒸留所運営を行ってきた連携実績を生かす。

B: サブスクリプション型別荘サービス事業者等の誘致、プロデュース及び運営サポート (候補地：旧依ヶ浦小学校、旧庵浦小学校跡)

- ・依ヶ浦半島の自然景観と親和性のある自然回帰型セカンドホームサービスの誘致

④ その他実施が見込まれる事業

LOGOTOMOと連携した、半島への“地域とつながるリモートワーク×多拠点居住”プログラム導入

- ・タクシードライバーによる、地域特性・天候・健康状態などを踏まえた快適な移動ルートと地域情報の提供
- ・トレイルコース整備・イベント・地域住民との共同運営を通じたスポーツ文化とワーケーションの融合体験の形成

(5) 提案事業の想定事業費、想定される事業手法

	提案事業	想定事業費	事業主体
①	ホテル・ランドスケープ開発および公園開発事業	63億円	民設民営
②	A：廃校建屋リノベーション事業（蒸留所・薬草園開発事業）	8億円	民設民営
③	B：廃校建屋リノベーション事業（サブスク型別荘）	18億円	民設民営
	(合計)	89億円	